

FL STUDIO 7には、オケの音圧を稼いだり、音量や音質を調整する際に便利なプラグインが数多く搭載されている。ここでは、そんなFL STUDIO 7ならではのユニークなプラグインを紹介していこう。

### Fruity Multiband Compressor



↑コンプのかかり具合を「ロー、ミッド、ハイ」という3バンドの帯域ごとに細かく調整できるプラグイン。各バンドの勢いを増したい時や最終的な2ミックスなど、サウンド全体の音圧を稼ぐ時に使うと最適だ。なお、コンプの効き具合をグラフィカルに表示できるので、初心者でも扱いやすいのもポイント

### Fruity Reverb 2



↑ボーカルに最適なリバーブ専用のプラグイン。空間の広さを「SIZE」で決めたら、あとはセンド量を調整するだけで、簡単にボーカルとオケのなじみを良くすることができる。あらかじめ多数のプリセットも用意されているので、ミックスでは重宝するはずだ

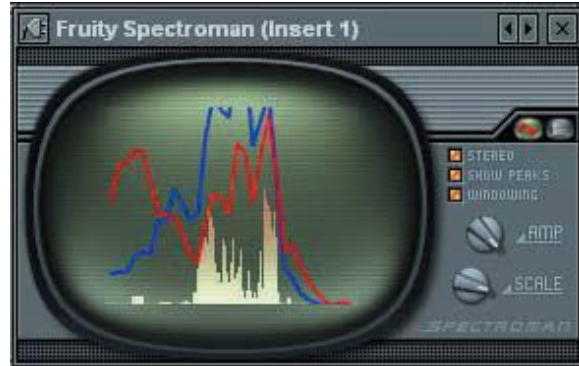
### 「Speech properties」で誰でもできる ミックスでロボット声をゲットする方法!



↑FL STUDIO 7には、自分の好きな言葉を入力するだけで、その言葉を自動的にロボットボイスに変換してしゃべらせることができるユニークなプラグイン「Speech properties」も搭載されている。この「Speech properties」を使って、歌詞をロボ声にミックスしても面白いだろう

## FL STUDIO 7付属の ミックスに便利な プラグイン!

### Fruity Spectroman



↑Fruity Spectromanは、サウンドのピーク成分や周波数をグラフィカルに表示できるスペクトルアナライザだ。これをマスタートラックにインサートすれば、オケの最終的な判断を視覚的に進めることができる。プロの楽曲と自分の楽曲を比較したい時などには特に有効なプラグインといえるだろう

### Fruity Stereo Enhancer



↑文字通り、楽曲のステレオ感を調整することができるプラグイン。2ミックスの広がり感が足りないと思った時は、このFruity Stereo Enhancerをマスタートラックに薄くかけると曲に臨場感を付加することができる

### Fruity Scratcher



←オーディオファイルを読み込むことで、アナログレコードのスクラッチ効果をシミュレートできるプラグイン。マウスでレコード部を実際にスクラッチするように操作すると、まるで本物のターンテーブルを触っているようにサウンドを再生することができる。ボーカルファイルに使用してヒップホップ的な効果を生み出したり、2ミックスファイルに使用して大胆に楽曲をアレンジする時にオススメだ

# ギタリストがリズムマシンの操作感覚で曲が作れる! 「FL STUDIO 7」活用テク

最終回: 録音したトラックをミックスして、完成度の高い楽曲に仕上げる方法!

文: 福岡 創

リズムトラック作りやギター  
の録音法など、FL STUDIO  
7ならではの使い方を紹介し  
てきたこの連載も、いよいよ  
最終回。今月は、各トラック  
の音量調整やエフェクトの使  
い方など、2ミックスの完成  
度をさらに高めるためのテク  
ニックを解説しよう。

FL STUDIO 7には、「ミキサ  
ーウィンドウ」と呼ばれる専用  
のウィンドウで、各トラックの  
音量や定位、EQの調整を行な  
うことができる。

そして、エフェクトに関し  
ては、各トラックに最大8つまで  
のインサートエフェクトを使用  
することができ、エフェクトの  
オン/オフもワンクリックで切  
り替えられるのが特徴だ。

また、FL STUDIO 7には4つ  
のセンドトラックも用意されて  
いるので、例えば、バスドラム  
、スネア、タムといったドラムパ  
ーツのトラックを1つにまとめ  
れば、簡単にドラム全体にコン  
プをかけたり、またボーカルや  
コーラスにもまとめてリバーブ  
をかけるといったことができる。

しかも、ボリュームフェーダ  
ーやパン、エフェクトのパラメ  
ーターの動きは、リアルタイム  
にFL STUDIO 7に書き込むこ  
とができるため、よりダイナミッ  
クなミックスに仕上げることも  
可能だ。

各トラックのバランスが調整  
できたり、あとは2ミックスフ  
ァイルを書き出せば、FL STU  
DIO 7での曲作りは終了だ。

FL STUDIO 7でのミックス作業の大まかな手順 (各パートの音量調整から、2ミックスファイルの書き出し方まで)

## 手順2 フェーダーやエフェクトの オートメーションデータを書き込む

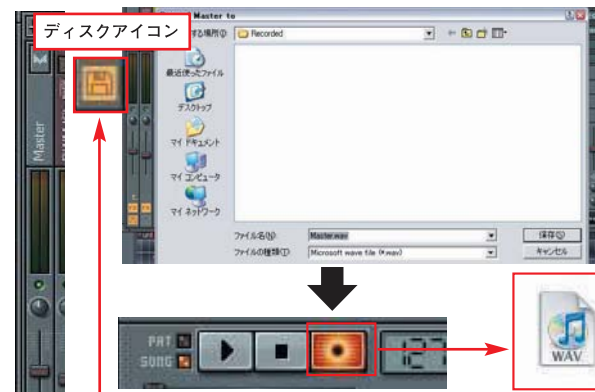


↑FL STUDIO 7では、ロー  
ーターをレコーディングモード  
にした状態で、曲を再生しなが  
ら各フェーダーやエフェクトの  
パラメーターを動かすことで、  
簡単にオートメーションデータ  
を記録することができる。例え  
ば、フィルターのカットオフ周  
波数をリアルタイムに開閉した動  
作をオートメーション化させれば、  
単調な曲でもダイ  
ナミックな変化を  
ミックスで加える  
ことができるのだ



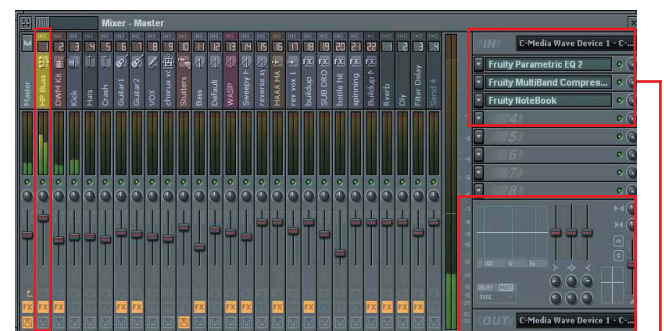
フィルターのオートメーションデータを入力した状態

## 手順3 2ミックスファイルに書き出して オリジナル楽曲として完成させる



↑↑各トラックの音量や定位、エフェクトなどの調整ができれば、マスタートラックの一番下にある「ディスクアイコン」をクリックしよう。すると、上のようなダイアログが表示されるので、ここで自分の好きなファイル名を付けて楽曲を保存する。最後にロケータをレコーディングモードにすると、自動的に2ミックスのファイルが作成される。これでオリジナル楽曲の完成だ

## 手順1 「ミキサーウィンドウ」を表示させて、 各パートの音量、定位、EQを調整する



↑↑FL STUDIO 7には、  
マスタートラックと4つ  
のセンドトラックを含む  
最大64トラック仕様の  
ミキシングウィンドウ  
が用意されている。  
各トラックの音量や定  
位は、各トラック下の  
パンツマミとフェーダ  
ーでも行なえるが、「ト  
ラック調整パネル」を  
活用すると、より視覚  
的にEQなどの設定が把  
握できるので便利だ



↑各トラックを選択すると、ミキシングウィンドウの右下に、上写真のような「トラック調整パネル」が表示される。ここで各トラックの音量や定位、EQ調整などを行っていく



↑「トラック調整パネル」の上にあるインサートエフェクト欄をクリックすると、各トラックに最大8つまでのエフェクトを立ち上げることができる。FL STUDIO 7には、前回紹介したギター系のエフェクト以外にも、ミックスに最適なパラメトリックイコライザーやマルチバンド・コンプなど、数多くのエフェクトが装備されている

### <共通の動作環境>

OS : Windows2000 / XP / Vista  
CPU : 1GHz以上のCPU  
メモリ : 512MB以上  
HDD : 200MB以上の空き容量  
(※XXL EDITIONでは3GB以上、  
FRUITYLOOPS EDITIONでは  
500MB以上を推奨)

問: 横フックアップ  
TEL: 03-3255-2777  
URL: http://www.hookup.co.jp



■FL STUDIO 7 FRUITYLOOPS EDITION  
価格: ¥16,800

約4,000種類のサンプル素材を収録し、ソフトシンセやオーディオのレコーディング機能は装備されていないものの、その他の基本機能はXXL EDITIONとほとんど変わらない、FL STUDIO 7の入門者向きモデル



■FL STUDIO 7 XXL EDITION  
価格: ¥42,000

### イメージライン・ソフトウェア FL STUDIO 7シリーズ ラインナップ

13,000以上のサンプル素材を収録している他、SytrusやDirectWave、DrumSynth Liveといったソフトシンセが付属しているのが特徴。今回の連載では、このFL STUDIO 7 XXL EDITIONを中心に解説している